

授業科目名	建築士計画	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	96 時間
担当者	前田 裕希 内野 雅彦	担当者実務経験		現場管理・施工管理業務等に從事 建築施工・建築設計業務等に從事	
対象学科・学年	建築士専攻科	開講時期	○	前期	後期 通年
到達目標	二級建築士学科Ⅰで出題される内容について基本知識を理解し出題問題の正解を導き出せる。				
授業形態	講義	実習	○	演習	※ 主たる方法：○ その他：△
授業計画	回数	授業内容			備考
	1~6	気候・空気			
	7~13	伝熱			
	14~18	日照・日射・採光・色彩			
	19~23	音環境			
	24~28	環境工学全般, 用語, 単位			
	29~33	住宅建築			
	34~38	商業建築			
	39~43	公共建築			
	44~49	各部計画, 建築生産, 都市計画			
	50~53	空気調和設備			
	54~57	給水設備, 排水・衛生設備			
	58~61	電気設備, 照明設備			
	62~65	消火・防災設備			
	66~75	建築設備用語			
76~96	建築史				
評価方法	日常の授業態度, 演習問題, 模擬試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	二級建築士試験厳選問題集500+100 (総合資格学院), オリジナル問題				
関連科目	建築士法規, 建築士構造, 建築士施工				
連絡事項	4月~5月中は週1回, 6月~学科試験まで週2回の頻度で模擬試験を実施する。				

授業科目名	建築士法規	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	36 時間	
担当者	西 利一郎	担当者実務経験		現場管理・施工管理業務等に従事		
対象学科・学年	建築士専攻科	開講時期	○	前期	後期	通年
到達目標	二級建築士学科Ⅱで出題される内容について基本知識を理解し出題問題の正解を導き出せる。					
授業形態	講義	実習	○	演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考	
	1~2	用語の定義				
	3~4	面積・高さの算定				
	5~6	採光・換気・天井高さの算定				
	7~8	建蔽率, 容積率				
	9~10	高さ制限				
	11~12	構造計算・構造強度				
	13~14	確認申請・建築手続き				
	15~16	一般構造				
	17~18	敷地と道路				
	19~20	用途地域				
	21~22	避難施設				
	23~24	耐火, 防火地域・準防火地域				
	25~26	防火区画				
27~28	内装制限					
29~31	建築基準法雑則					
32~36	建築士法, 関係法令					
評価方法	日常の授業態度, 演習問題, 模擬試験等を総合的に判断して行う。					
教科書・参考図書	二級建築士試験厳選問題集500+100 (総合資格学院), オリジナル問題					
関連科目	建築士計画, 建築士施工, 建築士構造					
連絡事項	4月~5月中は週1回, 6月~学科試験まで週2回の頻度で模擬試験を実施する。					

授業科目名	建築士構造	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	156 時間	
担当者	中濱 幸志郎	担当者実務経験		構造設計・構造計算業務等に従事		
対象学科・学年	建築士専攻科	開講時期	○	前期	後期	通年
到達目標	二級建築士学科Ⅲで出題される内容について基本知識を理解し出題問題の正解を導き出せる。					
授業形態	講義	実習	○	演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考	
	1~9	断面二次モーメント				
	10~18	図心				
	19~27	応力・応力度				
	28~36	静定ラーメン・3ヒンジラーメン				
	37~45	トラス				
	46~54	座屈・たわみ				
	55~64	固定荷重・積載荷重				
	65~74	風圧力・地震力・積雪荷重				
	75~84	地盤と基礎				
	85~94	木構造と部材名称				
	95~104	鉄筋コンクリート構造・溶接・機械継手				
	105~114	鉄骨構造・ボルト接合と溶接				
	115~124	組積造・その他構造				
	125~134	耐震設計と構造計画について				
135~144	建築材料(木材, コンクリート, 鋼材)					
145~156	建築材料(ガラス, 塗料, 石材, タイル, ボード等)					
評価方法	日常の授業態度, 演習問題, 模擬試験等を総合的に判断して行う。					
教科書・参考図書	二級建築士試験厳選問題集500+100 (総合資格学院), オリジナル問題					
関連科目	建築士計画, 建築士法規, 建築士施工					
連絡事項	4月~5月中は週1回, 6月~学科試験まで週2回の頻度で模擬試験を実施する。					

授業科目名	建築士施工	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	72 時間
担当者	横山 陽一	担当者実務経験		現場管理・施工管理業務等に従事	
対象学科・学年	建築士専攻科	開講時期	○	前期	後期 通年
到達目標	二級建築士学科Ⅳで出題される内容について基本知識を理解し出題問題の正解を導き出せる。				
授業形態	講義	実習	○	演習	※ 主たる方法：○ その他：△
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～5	契約・施工計画			
	6～11	管理計画			
	12～17	仮設工事, 地盤・土工事・基礎			
	18～23	鉄筋工事			
	24～29	型枠工事			
	30～35	コンクリート工事			
	36～41	鉄骨工事			
	42～47	コンクリートブロック工事			
	48～53	木工事			
	54～59	防水工事, 左官工事			
	60～65	タイル工事, 塗装工事			
	66～69	建具・ガラス工事・内装工事			
	70～72	改修工事, 設備工事, 施工機械・器具, 測量, 積算・見積			
評価方法	日常の授業態度, 演習問題, 模擬試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	二級建築士試験厳選問題集500+100 (総合資格学院), オリジナル問題				
関連科目	建築士計画, 建築士法規, 建築士構造				
連絡事項	4月～5月中は週1回, 6月～学科試験まで週2回の頻度で模擬試験を実施する。				

授業科目名	建築士設計製図		必修/選択	必修	授業時間数(50分)	210 時間	
担当者	西 利一郎 横山 陽一 前田 裕希 中瀨 幸志郎		担当者実務経験		現場管理・施工管理業務等に従事 現場管理・施工管理業務等に従事 現場管理・施工管理業務等に従事 構造設計・構造計算業務等に従事		
対象学科・学年	建築士専攻科		開講時期		前期	○	後期
到達目標	二級建築士製図試験で出題される内容について基本知識を理解し試験時間内で課題に適した設計ができる。						
授業形態		講義		実習	○	演習	※ 主たる方法：○ その他：△
授業計画	回数	授業内容					備考
	1	二級建築士試験の概要					
	2~13	エスキスの考え方					
	14~136	木造併用住宅(平面図・断面図・立面図・各伏図・矩形・仕上表)作図					
	137~210	木造施設(平面図・断面図・立面図・各伏図・矩形図・仕上表)作図					
評価方法	日常の授業態度, 演習問題, 模擬試験等を総合的に判断して行う。						
教科書・参考図書	オリジナル問題						
関連科目	建築士計画, 建築士法規, 建築士構造, 建築士施工						
連絡事項	製図試験まで週4回の頻度で演習問題を実施する。						

授業科目名	課題研究	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	270 時間
担当者	西 利一郎 横山 陽一 前田 裕希 中濱 幸志郎	担当者実務経験		現場管理・施工管理業務等に從事 現場管理・施工管理業務等に從事 現場管理・施工管理業務等に從事 構造設計・構造計算業務等に從事	
対象学科・学年	建築士専攻科	開講時期		前期 ○ 後期	通年
到達目標	1.在学中に習得した建築学に関する専門知識を総括して、住宅作品などを完成できる。 2.課題研究を通じて専門家として必要な洞察力や表現力を身につける。 3.自主的かつ計画的にものごとを進めることができる。				
授業形態	講義 ○ 実習 演習	※ 主たる方法：○ その他：△			
授業計画	回数	授業内容			備考
	1	全体及びグループでのオリエンテーション			
	2~10	課題設定			
	11~20	調査			
	21~50	計画案の企画・立案			
	51~70	エスキス			
	71~93	プランニング			
	94~100	中間報告①			
	101~150	計画案のブラッシュアップ①			
	151~156	中間報告②			
	157~200	計画案のブラッシュアップ②			
	201~264	プレゼン資料作成（プレゼンボード，模型）			
	265~270	プレゼンテーション			
評価方法	日常の授業態度，課題の提出と内容を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	オリジナル資料				
関連科目	建築士計画，建築士法規，建築士構造，建築士施工				
連絡事項	共通課題（住宅設計）以外は，希望する職種に応じて課題を選択する。				